



あしたの賃貸プロジェクト第5回シンポジウム

英国のソーシャル・エンタープライズに学ぶ 「ウェルビーイング(その人なりの幸せな暮らし)」を はぐくむ賃貸住宅



2024 **10/22** Tue.
10:00-17:00

YouTubeにてライブ配信

参加費無料 (事前登録制)

英国では、賃貸住宅を基盤として、まちづくり、コミュニティづくり、人づくり(支援)などに開わる社会的課題にソーシャル・エンタープライズがビジネスとして取り組み、利益を上げ、その利益を再投資することで、それらの課題を解決する仕組みが存在しています。そこで、今回の第5回シンポジウムでは、英国のソーシャル・エンタープライズの歴史や活動を知り、「ウェルビーイング(その人なりの幸せな暮らし)」をはぐくむ賃貸住宅を創るために、日本でどのように取り組んでいくかを、みなさまと一緒に考えたいと思います。ぜひ、ご参加ください!



10:05-10:25 **イントロダクション**

欧米と日本の住宅政策をソーシャルな視点で考える

松本 真理

一般財団法人住宅改良開発公社 住まい・まち研究所 所長



ソーシャル・エンタープライズとは

社会的目的を持った企業であり、ビジネスのオーナーや株主の利益を目的に運営されるものではなく、ビジネスによって得られた利益をビジネスの社会的目的、あるいはコミュニティへと再投資し、継続的にその目的実現に向かって経営される企業体。

第1部 リサーチ報告 英国のソーシャル・エンタープライズ



10:25-11:05 **講演1**

英国のソーシャル・エンタープライズの誕生から
現在まで

漆原 弘氏

Urushibara Architecture and Consultancy 代表



11:10-11:50 **講演2**

英国のソーシャル・エンタープライズの活動事例

大塚 紀子氏

ILS Research gGmbH 上席研究員

第2部 英国と日本の現場から考えるソーシャル・エンタープライズ役割

基調講演&パネルディスカッション



13:00-13:50 **基調講演1**

大月 敏雄氏

東京大学大学院
工学系研究科建築学専攻 教授

1967年福岡県生。東京大学卒業後、同博士課程修了。博士(工学)。古い集合住宅の住みこなしや、アジアのスラムのまちづくり、戸建て住宅地のマネジメント、住宅政策を研究。著書に『町を住みこなし一超高齢社会の居場所づくり』(岩波新書)など。

政策の隙間から住まいまちづくりの 変革が生まれる

2024年住宅セーフティネット法*が改正され、同法は国土交通省と厚生労働省の共管となった。ここでようやく住まいと暮らしとなり、ケアがセットとなった政策基盤が形成された。今後の居住政策においてウェルビーイングの基盤としての住まいに何が必要かを考えたい。

*住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律



14:00-15:00 **基調講演2**

キャサリン・ヒバート氏

ドット・ドット・ドット・プロパティ
創設者・会長

英国のソーシャル・エンタープライズであるDot Dot Dot Property社の創設者兼会長。空きビルをボランティア活動希望する人々のために安価な住宅として活用し、2011年の設立以来、英国の何千人もの人々に、地域の賃貸相場の66%以下で住居を提供してきた。住宅協会Co-op Homesの会長も務めている。

英国の住宅危機を解決し、居住者の幸せと コミュニティづくりを支援する革新的手法

英国には住宅問題の長い歴史があり、その解決のために革新的な取組が必要とされてきた。空きビルを、ボランティア活動を希望する人々のために安価な住宅として提供するわが社の手法も、現在の英国の住宅制度や住宅危機と切り離せない。Dot Dot Dot Property社は、居住者が自分らしく生活する環境を作り、コミュニティを豊かにするだけでなく、従業員に適切な給与を支払い、チームの成長と有意義な仕事の創造に努めている。ソーシャル・エンタープライズ創業者としての英国という恵まれた環境、創業時の役立った仕組みや苦労した点についても話したい。

15:10-17:00 **パネルディスカッション**



日本の取組事例1

みんなで一緒にまちづくりを!

エンジョイワークスは居心地の良いコミュニティ、暮らしやすい住まいやまちの実現に向けて、地域住民をはじめとした様々なステークホルダーがまちづくりに参加できる仕掛けを提供しています。そのコンセプトや具体的な手法および事例の一部をご紹介します。

福田 和則氏 株式会社エンジョイワークス 代表取締役



日本の取組事例2

空き家を活用した居住支援事業の取組みと今後の展望

空き家を活用した居住支援事業に長年取り組み、関西・関東圏に350件の住居を提供してきました。近年は住宅確保要配慮者への住宅提供を促進する政策も打ち出されていますが、民間のベンチャー企業としての取組みと今後の展望を紹介します。

松本 知之氏 Rennovater株式会社 代表取締役

質疑応答&ディスカッション

登壇者全員でパネルディスカッションを行います。参加登録時に、皆様からの質問を受け付けます。

主催 一般財団法人 住宅改良開発公社
後援 独立行政法人 住宅金融支援機構
一般社団法人 全国住宅供給公社等連合会
一般社団法人 プレハブ建築協会
公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会

ご参加には事前申込が必要です。
お申し込み締め切りは10月21日(月) 23:59まで
最新情報はWebサイトをご覧ください。
<https://ashitanochintai.jp.com/symposium5/>



ご登録はこちらから

YouTubeにて
ライブ配信